

追浜あんず通信

Oppama Anzu Press

第21,22合併号 2021年11月 発行：特定非営利活動法人 アクションおっぱま

貝山地下壕の公開再開に寄せる想い

追浜工業団地の一角に緑豊かな貝山緑地があります。この横須賀市所有地に掘られた貝山地下壕は、2011年東北沖地震以降閉鎖されていましたが、2021年の夏、安全対策が完成し一般見学ができる様になりました。

公開に先立ち横須賀市は、街づくりや観光等の一翼を担う団体を中心にガイドのための人材を募集し、一年かけ育成した「認定ガイド団体」が誕生しました。団体の各受講者は、それぞれ認定書を受けました。

当NPO法人アクションおっぱまは、16名の認定ガイドが誕生しました。

現在では、皆さん楽しくガイドを実践しています。



私と貝山地下壕の出会いは、三橋達也さん主演の映画「忘れられぬ人々」に観音崎レストハウスや貝山地下壕B地区等がロケ現場になった事からでした。

物語は、南方戦線で生き残る三人が老人となり、思いもかけぬ災厄かぶり勇気を持ち立向う姿を描きます。B地区ロケは、老人達の体験した太平洋戦争中の激戦地の回想でした。

ロケハンと壕内に初めて入り、そのスケールに驚かされ興味を持つ事になりました。

二度目の出会いは、公務員も後3年を残した追浜行政センター館長の時代でした。

この時、管轄内の夏島掩体壕、航空技術廠跡や他に教育委員会と近辺の地下壕を調査の為に歩きました。

特に思い出のある貝山地下壕はこれからの街づくり活用にきわめて大事であると確信しそれに伴い、追浜での海軍航空の歴史や資料の収集を始めました。

海軍航空の歴史は、開国を迎え明治末に浦郷追浜の海岸沿線からが始まりました。

今では、近くて遠い太平洋戦争前後の海軍航空の実態も、当地で知る人が少なくなり今回の貝山地下壕の公開は海軍航空の足跡を伝える良い機会と考えています。

貝山地下壕は、主にA地区、B地区、C地区、上部壕から成り見る人を驚かせます。

今回見学できるB地区は、第2士官舎に隣接し司令部的な会議室が有ります。壕は、工場群と異なり複雑な設計が施され、生活感の有るカマドや水場等を見ることが出来ます。

太平洋戦争は長引き、終戦末期の日本は本土空襲が激しく、迫る危機に本土決戦も考える事になります。日本を守るため司令部、軍需工場、通信施設、物資・戦闘機等兵器庫や病院等の様々な施設を地下壕に避難させる状態でした。貝山地下壕も同じように利用されたようです。

(NPO法アクションおっぱま 副理事長 青木 猛)



貝山地下壕の一般公開について

1 貝山地下壕の見学

アクションおっぱまのホームページでご案内していますので、詳細は下記のURLをご参照ください。お申し込みもホームページからとしております。電話、FAXでのお申し込みは受け兼ねますので、ご了承ください。

ホームページ <http://www.action-oppama.org/project/kaiyama/>

2 2021年の実績

- 企画ツアー ホームページで定期的に募集するもの。

2021年は奇数月の第一日曜日、7月4日、9月5日、11月7日(時間は13:00～15:00) 各回16人募集しました。

* 9月5日はコロナウイルス感染拡大のため施設使用休止となり12月5日に延期

* 2022年については、ホームページで日程をご確認ください。

- モニターツアー

団体の申し込みはまだ受けていませんが、地元から申し込みがあれば可能な範囲で受けます。これまでに、追浜銀座通り商店会と追浜本町2丁目「ゆう遊倶楽部」の見学ツアーを実施しました。

3 ガイドメンバー

アクションおっぱまは、横須賀市の公認ガイド団体として、ツアーを実施します。ガイドなしで貝山地下壕の見学はできません。ガイドは現在、次の方々です(敬称略、50音順)

青木 猛、奥村樹郎、片岡 博、河村啓子、西条良彦、澤田栄次、昌子住江、大黒春江、田中純一、中田 均、長塚淑江、野田陽子、細島勝雄、村澤醇治、渡邊伸一(以上15名)

湘南鷹取2丁目自治会 道路美化で国交大臣賞受賞

湘南鷹取2丁目は、市が管理する土地の一部を町内会・自治会や企業などがまちづくり活動のために有効利用する「横須賀市まちかど里親」制度を利用して町内花壇を複数開設してきました。2丁目公園に接する斜面地の通称「里親花壇」、鷹取中学校正門前の通称「睦会花壇」が主なものです。前者はやがて10年を迎える長期にわたって活動を続け、後者は老人会が中心、発足して3年目になります。両グループとも会員数は30人弱、毎週2日、活動日を設けています。

今回、市・土木計画課から横須賀市代表として推選され、国土交通省「道路ふれあい月間」における大臣表彰にノミネートされました。8月2日に授賞が決定し、9月14日に全国96団体のひとつとして国土交通大臣から感謝状と盾を頂戴しました。

道路美化の名目ですが実際は道路敷で、道路に接した市有地を利用した花壇です。

「里親花壇」はいわば植物園。面積は200坪を超え、植物の名を記すプレートが布置されています。元植物学教

授、元園芸社技術者、土木工事管理者など、ボランティアの中には専門家も混在しています。ちなみに9月末現在、ハギ・マーガレットコスモス・ベンケイソウ・デュランタ・ハナスベリヒユ・ジニア・コスモス・オミナエシ・キクイモモドキなど約60種の花が繚乱しています。



「睦会花壇」は道路に沿って帯状に伸びています。マリーゴールドやニチニチソウなど色鮮やかな草花が整然と配置されています。もうすぐ、皇帝ダリアの大輪が咲き乱れます。

わが町内花壇は、湘南鷹取の散歩道で重要なチェックポイントになっています。両方とも「たかとり中学校」バス停徒歩2,3分。出かけてみませんか…。

(湘南鷹取2丁目自治会長 藤島紀雄)



わたしが育児コミュニティを作る理由

Oppapamamaile みうらん 神馬彩夏

2017年、わたしは第一子を出産しました。

「子育てってこんなに大変なの!？」と驚いたわたしは、せめて追浜で子育てをしているママたちの力になれないかと、他のママ2人と共に「Oppapamamaile (追浜+パパママ+スマイル、以下オパイル)」という育児コミュニティを立ち上げました。

親子向けイベントの企画や、Yフェスタに参加など地域でも少しずつ活動を広げ、私たちの情報発信を受け取ってくださる方は600名を超えるようになりました。

2019年夏、台風19号が千葉県に大きな被害をもたらしました。

「現地のママたちはどれだけ大変だろうか」と考えるといてもたってもいられず、オパイルのネットワークを使ってオムツやミルクなどの支援物資を集めました。



軽自動車がパンパンになるほどの荷物と、往復交通費以上の寄付を一晚で集め、翌朝には久里浜港からフェリーで千葉へ。母子避難所とされている場所へ物資を届けました。

「もし横須賀で災害があった時にも、オパイルが子育て世帯をつなぐ拠点になろう。」

この時にそう胸に誓いました。

そして2020年。

「Stay home」が謳われ、小さい子と家に籠もらなきゃいけないのがどれだけ辛いことか。

保育園に預けられないとか、夫が家で仕事をしているとか、これまでの日常とは全く違う暮らしを余儀なくされるようになりました。

そこでわたしは、「寿徳庵」さんのお弁当を、ママたちから注文を受けて自宅までお届けするという活動をしました。

せめてお昼ご飯くらいは手を抜いて、受け渡し時だけでもいいから家族以外の大人と話す時間を持てたらという想いでした。

2021年夏、医療崩壊が起き自宅療養者が増えると「フードレスキュー (食糧配達)」という活動を始めました。

買い物に行けない方へ、食料品はもちろんオムツやミルクなどの日用品も手元になくて困っている人がいるかもしれないと感じたからです。

幸か不幸か、呼びかけから2ヶ月の間に依頼されることはありませんでしたが、こうやって発信を続けていくことで「いざ」という時に思い出してもらえる存在になりたい。

そのために、わたしは育児コミュニティを運営しているのだと思います。

【おまけ】

毎月8日に「親子deゴミ拾い散歩」を行っています。

10時に追浜行政センター集合、11時まで各自好きな場所でゴミ拾いしていただき行政センターにてゴミを回収します。

小雨中止、大人でも子どもでもご参加いただけます。トングはこちらで貸し出しします!



会員の声



私は関東学院大学に通っている二年生の羽野嵩久(はのたかひさ)といます。小学一年生の時から高校三年

生の時まで地元の三重県四日市市の方で諏訪太鼓を習っていました。諏訪太鼓のチーム名は「翔」といいます。私が習っていた諏訪太鼓チームは他のチームと少し違って、健常者の子と障がい者の子で一緒に演奏をするチームでした。障害を持っている子も様々に視覚障がい、発達障がい、知的障がい(人との関わりが苦手な子、複雑な話や抽象的な話は理解しにくい子、初めてのことを覚えるには、時間がかかる子、奇声を発したり、周りの人にわかりにくいタイミングで激しく感情を表現する子など)を持っている子と太鼓を叩いていました。お祭りの時期(4月や8月)は老人ホームやイベントに参加していました。今コロナの影響で祭りごとができていないのですが、できるようになれば、太鼓をやっていた経験を活かしたいなと思っています。コロナが落ち着けば地域活動に貢献していきたいです。



(学生会員 関東学院大学2年 羽野嵩久-写真中央-)

追浜に想う

簡単に自己紹介! 私です! 「笑」

そのまま! 「笑」

僕はこの町に相当の想いがある、

幼き日に事情でここを離れる時「泣」

みんなに色々してもらったけども…「遠い目」

当時の僕はその後何もできなかった…

ある意味昔の僕ができなかった事を今!

みんなにする様にやる事が僕には必要だと、

追浜係になるつもりでいる。

話し変わるけど、人生は旅だ! 「笑」

この旅がどこで終わるか分からないが?

生きてる限りこの町を気にかけるだろう。

(正会員 河本行正)

会員の動向

2020年から2021年にかけて、次の方が入会されました。なお敬称は略させていただきます。

正会員	宮坂元典、河本行正、金野泰直
学生会員	羽野嵩久
賛助会員	渡邊伸一、中田均、長塚淑江、細島勝雄、野田陽子、大黒春江、田中純一

*会員数 正会員(団体)6(個人)29 : 賛助会員(団体)8(個人)12

コロナ禍とアクションおっぱまの活動～2021年度通常総会の報告

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大によりアクションおっぱまの活動が制約を受け、財政的に非常に厳しい状況になることから、「追浜あんず通信」第20号発行に合わせ、会員の皆様に緊急支援をお願いいたしました。おかげさまで総額29万円に上るご支援をいただきましたこと、心から御礼申し上げます。

ただ、年が改まるとその影響はさらに大きくなり、2021年2月3日に開催を延期した「第16回おっぱま ワイン寄席」は、年初よりの感染拡大で横須賀市のコミュニティセンター全館閉館となったため、中止せざるを得なくなりました。チケット代は全額払い戻しと致しましたが、窮状を察して多くの方からチケット代分のご寄付(総額10万4千円)をいただきました。本当に感謝に耐えません。それにしても永きに渡って続いてきたワイン寄席、その有終の美となはずだった第16回が、幻の回となったことは大変残念でした。

コロナ禍では、感染拡大のため第三海堡遺構展示場が度々利用休止となるなど、団体の見学や研修の受け入れはほぼなくなりました[毎月1回の一般公開日 見学者数206人(公開休止7回)、団体見学者64人(3団体)、イベント公開無し]。ただ新しい動きとして、2021年4月より長年の懸案であった貝山地下壕の一般公開が再開となり、アクションおっぱまも横須賀市の公認ガイド団体として7月より見学ツアーを始め

ました。なお、『貝山地下壕 見学の手引き』と題する一般向け冊子の印刷にも、会員および会員外の方からご支援をいただきました(総額27万円)。コロナ禍にあって、みなさまのご支援なしには活動できないことを痛感した次第です。

2021年度の通常総会は6月9日(水)(会場は「守谷ノ間」)開催、まだコロナ禍は収まらない状況でしたが、感染防止策を講じた上で会員のご参加を募り、当日は正会員3名が出席されました。

議決権のある正会員数35名(定足数は過半数の18名)、出席者は24名(内書面評決者8名、評決委任者7名)でした。総会では、2020年度事業報告書、同活動計算書、同貸借対照表、同財産目録、同監査報告書、2021年度事業計画書、同活動予算書が全て異議なく承認されたことをご報告します。

新型コロナウイルスの感染は収まりつつあるように見えます。油断することなく、可能な範囲で活動を取り戻して行きたいと思います。(NPO法人アクションおっぱま 理事長 昌子住江)



地元発見駅弁販売イベント

毎月15日の11時から追浜駅前、サンビーチ前で駅弁販売イベントが開かれています。三浦半島地産地消の魚、野菜を使用した弁当です。



毎年恒例になりました

深浦漁港での若布収穫祭の開催!

日時: 2月19日 土 10時～13時頃まで

会場: 深浦漁港

申し込み: NPO法人アクションおっぱま 河村まで

FAX 046-866-5767

申し込み締め切り12月15日

参加費 3,000円/1口(大人4人で一口)
もちろん一人一口でもOK



追浜あんず通信第21, 22合併号 2021年11月発行
発行 特定非営利活動法人アクションおっぱま
発行人 昌子住江
編集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会

編集後記

●「追浜あんず通信」は年2回発行なのですが、今回は止むを得ず21, 22号合併号となりました。コロナ禍での活動の制約が影響し誌面構成が困難になったため、大変申し訳ありません。お詫びの印としては何ですが、カラー版にしました。コロナ禍も収まって通常の姿に戻りたいものです。(昌子住江)

●ノーベル物理学賞に地球温暖化がとりあげられて、世界の反応がようやく前向きになったかと思われる。しかし、すでに地球の自助許容範囲を超えて人類の努力で地球にふさわしい環境が戻せるのか?山茶花の優しい色を見てふと。(河村啓子)